

1 鎌倉東地域 地域別方針



目標における網掛け部分 と具体的な取り組みにおける太字部分は平成16年度に追加・修正した部分です。また★印は重点的に取り組む内容です。

まちづくりの基本的考え方

- 豊かな自然や歴史的環境を保全し、市民が親しみ活用できるまち、いつまでも住み続けたいまちにしていく。
- 交通渋滞を解消し、高齢者など誰もが安全・快適に移動できるまちにしていく。
- 防災対策を進め、市民が安心して暮らせるまちにしていく。

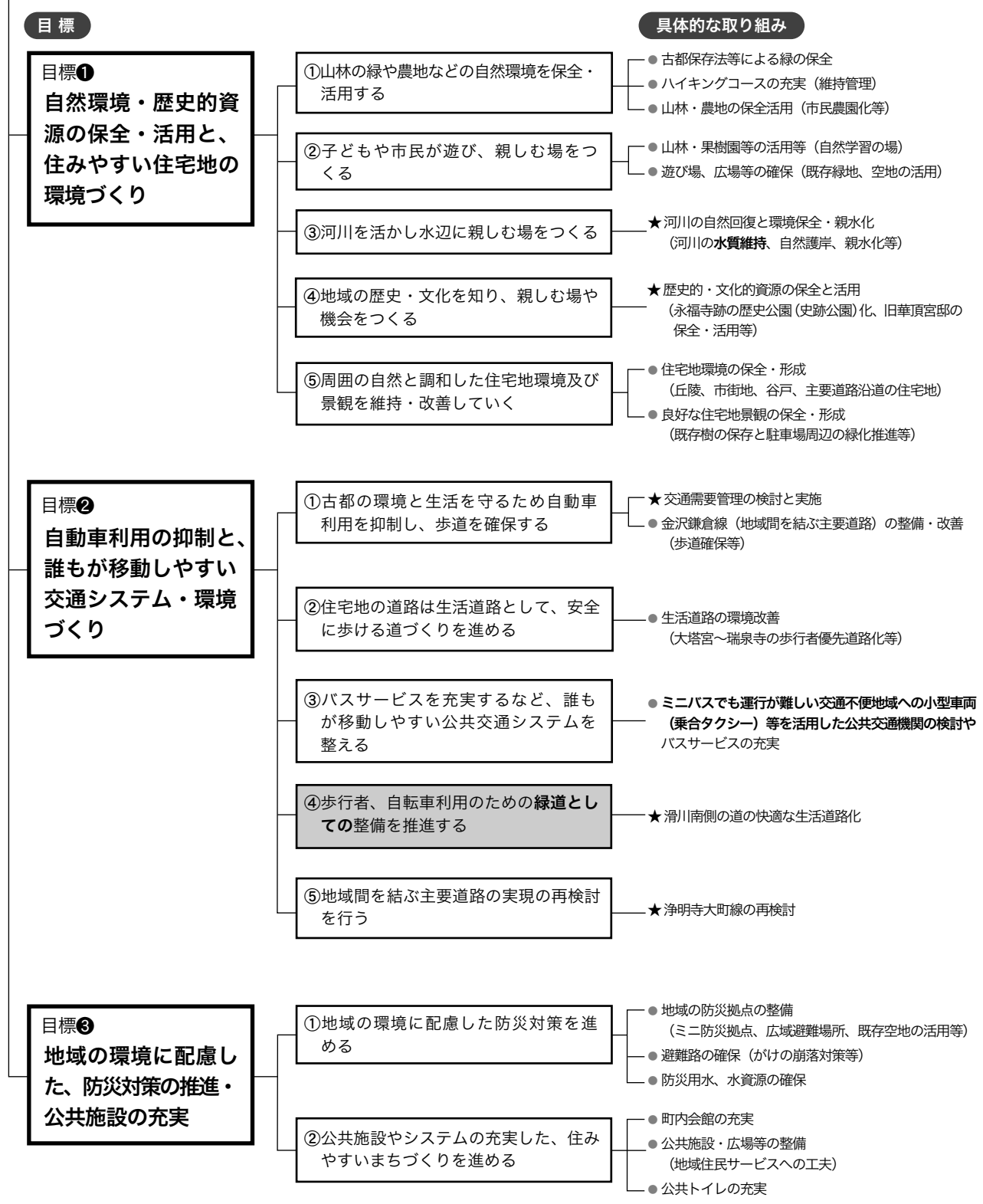
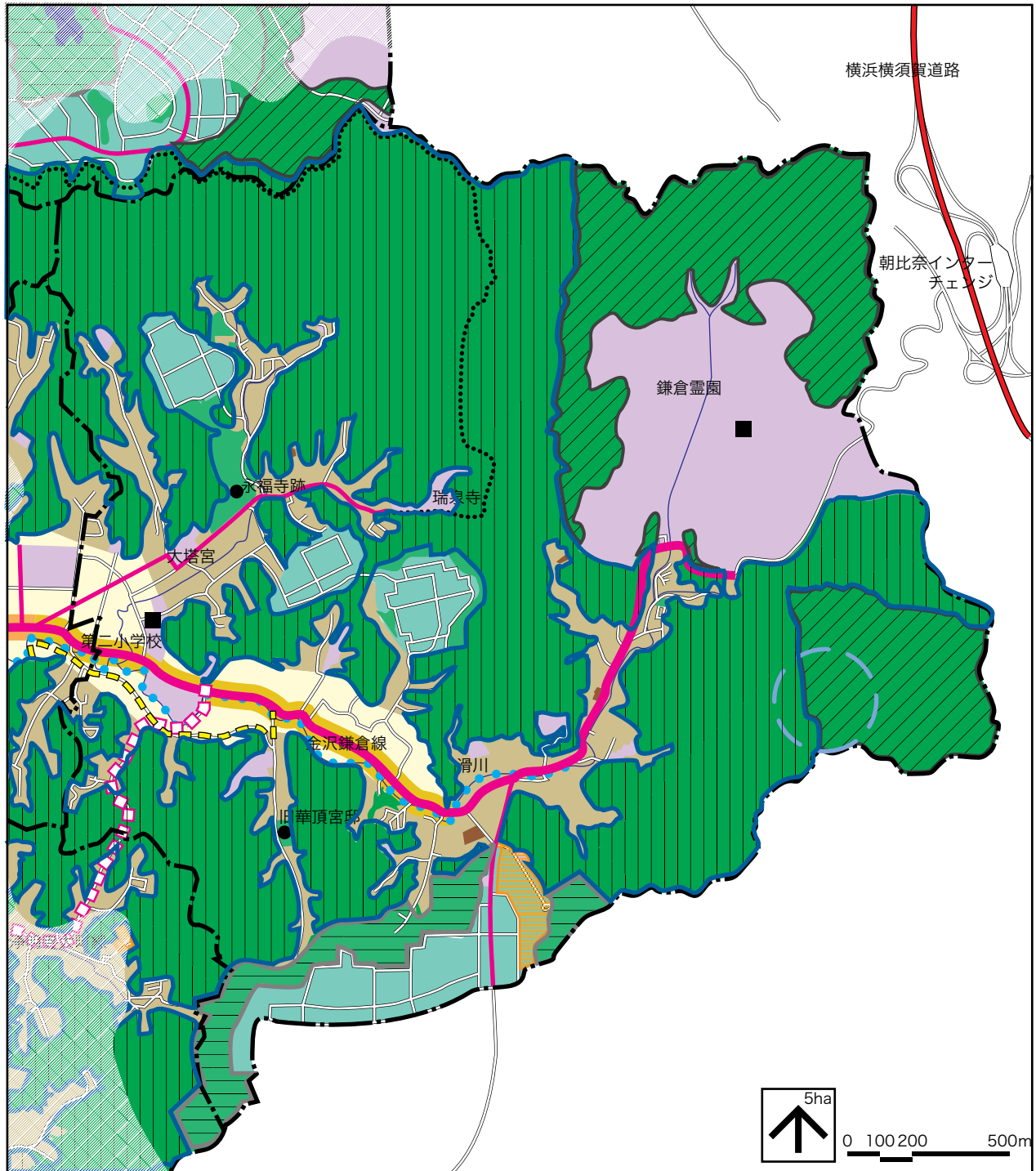


図 地域別方針……鎌倉東地域



- | | | | | | |
|--|----------------------|--|--------------------|--|-------------------|
| | 古都保存法による緑の保全 | | 市街地の住宅地環境の保全・形成 | | 生活道路の環境改善 |
| | 古都保存法以外の法による緑の保全 | | 谷戸の住宅地環境の保全・形成 | | 滑川南側の道の快適な生活道路化 |
| | 身近な緑の保全 | | 主要道路沿道の住宅地環境の保全・形成 | | ハイキングコースの充実 |
| | 自然的公園としての緑の保全・活用 | | 丘陵の住宅地環境の保全・形成 | | 地域の防災やコミュニティ拠点の整備 |
| | 都市公園等の緑の保全・創出 | | 公共公益施設等(開放・緑化等) | | 生産緑地地区 |
| | 山林・果樹園等の活用等 | | 地区計画による住環境の保全 | | |
| | 歴史的・文化的資源の保全と活用 | | 金沢鎌倉線の整備・改善 | | |
| | 河川の自然回復と環境保全・親水化(滑川) | | 浄明寺大町線の再検討 | | |

1. 地域の特徴

- 地域の大部分を山林が占めており、丘陵部の比較的小規模に開発された住宅地と谷戸の住宅地で構成されています。
- 豊かな自然や歴史的遺産が点在していることから、週末には車で訪れる観光客で金沢鎌倉線を中心に慢性的な交通渋滞が発生しています。
- 地域の大部分を風致地区に指定しており、その大部分が歴史的風土保存区域及び歴史的風土特別保存地区に指定しています。

2. 主な動向と取り組み

地域別の方針（本編 130 ページ）に掲げる 3 つの目標についての主な動向と取り組みは次のとおりです。

目標① 自然環境・歴史的資源の保全・活用と、住みやすい住宅地の環境づくり

- 歴史的風土保存区域が拡大指定されました (H12.3)。
- 浄明寺胡桃ヶ谷で住民協定が締結され (H10.7)、その後、景観形成地区の指定により、景観づくりのルールを策定しました (H12.3)。
- 鎌倉逗子ハイランド第 7 期住宅地で建築協定が締結されました (0.3ha、H10.11)。
- 旧華頂宮邸の庭園整備や一般公開、建物の暫定公開を行っています。
- 国指定史跡永福寺跡史跡の公園化に向けた整備事業を推進しています。

目標② 自動車利用の抑制と、誰もが移動しやすい交通システム・環境づくり

- 特に動向等の変化はありませんでした。

目標③ 地域の環境に配慮した、防災対策の推進・公共施設の充実

- 第二小学校で耐震改修工事を実施しました (H15.11)。
- 二階堂在宅福祉サービスセンター (H13.4)、鎌倉青少年会館 (H13.3)、二階堂子ども会館・子どもの家 (H13.3) を設置しました。

3. 重点的に取り組む内容

地域の特性である豊かな自然や歴史的遺産の保全・活用を図るとともに、慢性的な交通渋滞の解消のための交通システムの整備が必要です。

重点

1) 永福寺跡の歴史公園（史跡公園）化、旧華頂宮邸の保全と活用の検討

- 歴史的遺産である永福寺跡の歴史公園（史跡公園）化や旧華頂宮邸の活用方針を明確化し、保存に向けての具体策を検討します。

重点

2) 滑川の溪流の再生と緑道の整備

- 護岸整備だけでなく、緑道など周辺環境の整備を含めて、滑川の溪流の再生事業の再開を県に要請します。

重点

3) 交通システム・環境整備

- 金沢鎌倉線の渋滞解消を図るため、詳細な実態調査（平日、休日、シーズン等別に）を行い、交通需要管理の導入を検討します。
- 都市計画道路 浄明寺大町線については、本市の重要な歴史的景観及び緑の保全、全体の交通ネットワーク及び災害時のライフライン確保等の視点を考慮しながら再検討します。

重点

4) 近郊緑地特別保全地区の指定

- 近郊緑地保全区域十二所地区の重要な部分について、近郊緑地特別保全地区の指定を進めています。

ソフト面の取り組み

- 緑の保全、管理に市民が協力するシステムづくり
- 地域の自然や歴史に関する情報把握・学習システム
- 災害時の避難・救援システム、コミュニティづくり
- ごみの減量化、リサイクルの推進
- ごみ箱のあり方の検討